

● 神戸 認知症カンファレンス

- 日 時：2014年7月9日(木)18時～
- 場 所：神鋼病院呼吸器センター・管理棟5階 大会議室(神戸市中央区脇浜町1-4-47)
- 講 演：認知症の診断と治療
 演者：徳島大学病院 神経内科 臨床教授 和泉 唯信 先生
 座長：神鋼病院 神経内科 部長 松本 真一
- その他：日本医師会生涯教育講座1単位申請中。当日は軽食をご準備しております。

● 神戸疼痛フォーラム

- 日 時：2014年7月19日(土)18時30分～20時40分
- 場 所：ホテルクラウンパレス神戸5階『THE BALL ROOM』
 (神戸市中央区東川崎町1丁目3番5号 TEL:078-367-1358)
- 講演1：腰下肢痛における保存的治療
 演者：愛媛大学医学部付属病院 脊椎センター長 尾形 直則 先生
 座長：神鋼病院整形外科 部長 武富 雅則
- 講演2：今夜も眠れない凍結肩～超音波診療の最前線～
 演者：城東整形外科 診療部長 皆川 洋至 先生
 座長：ぱくペインクリニック 院長 朴 基彦 先生
- その他：講演は日本整形外科学会専門医教育研修単位に認定されています。

● 鎮痛剤と消化管障害を考える会

- 日 時：2014年7月24日(木) 19時～21時
- 場 所：神鋼病院呼吸器センター・管理棟5階 大会議室(神戸市中央区脇浜町1-4-47)
- 講演1：当科におけるNSAIDsと潰瘍予防薬併用状況について
 演者：神鋼病院整形外科 部長 武富 雅則
 座長：神鋼病院消化器内科 部長 山田 元
- 講演2：NSAIDs/アスピリン潰瘍の現状と再発抑制治療
 演者：兵庫医科大学 内科学消化管科 講師 大島 忠之 先生
 座長：神鋼病院 消化器内科 部長 山田 元
- その他：日本医師会生涯教育講座2単位申請中。当日は軽食をご準備しております。

● 第1回 神鋼循環器セミナー

- 日 時：2014年7月31日(木)18時30分～19時45分
- 場 所：神鋼病院呼吸器センター・管理棟5階 大会議室(神戸市中央区脇浜町1-4-47)
- 講 演：心房細動における抗凝固療法—新規抗凝固薬(NOAC)とワルファリンの位置づけ—
 (ガイドラインの改定をふまえて)
 演者：大山病院 内科 部長 関谷 純一 先生
 座長：神鋼病院 循環器内科 副院長 岩橋 正典
- その他：日本医師会生涯教育講座1単位を申請中。当日は軽食をご準備しております。

● 神鋼糖尿病セミナー

- 日 時：2014年8月7日(木) 18時30分～20時
- 場 所：神鋼病院呼吸器センター・管理棟5階 大会議室(神戸市中央区脇浜町1-4-47)
- セッション1：糖尿病診療における地域連携について
 演者：神鋼病院糖尿病代謝内科 科長 竹田 章彦
 座長：河原医院 院長 河原 啓 先生
- セッション2：外来CGMから見た血糖の動き～新規薬剤をどう使う?～
 演者：こたに糖尿病内科クリニック 院長 小谷 圭 先生
 座長：神鋼病院糖尿病代謝内科 科長 竹田 章彦
- その他：日本医師会生涯教育講座1.5単位申請中。当日は軽食をご準備しております。

Info 講演会についてのお問い合わせ
 神鋼病院地域医療連携センター地域医療連携室 担当：浅田
 TEL：078-261-6739 (直通)

Medical News

2014年7月
Vol.85

Shinko Hospital

Contents

- *【特集】呼吸器センター
結核をお忘れではないですか？
- *感染症科医のつぶやき
- *開業医探訪
「小柴クリニック」
- *講演会のご案内

神鋼病院理念

地域医療に貢献し、信頼される病院を目指します。

基本方針

1. 患者さんの立場にたった「あたたかい」医療を提供します。
2. 個人の尊厳と生活の質を重視した医療を実践します。
3. より良い医療を提供するために、常に学・技の研鑽に励みます。
4. 全ての領域における医療安全に最大限の注意を払います。
5. 快適で清潔な医療環境の構築に努力します。

医療法人社団 神鋼会 神鋼病院

〒651-0072 神戸市中央区脇浜町1-4-47
 TEL：078-261-6711 (代表)
 FAX：078-261-6726
 URL：http://www.shinkohp.or.jp/
 発行責任者：病院長 山本 正之
 編集責任者：神鋼病院広報委員長 山神 和彦

講演会などの
詳しい情報は
こちらから!!
[神鋼病院](http://www.shinkohp.or.jp/)
<http://www.shinkohp.or.jp/>

特集 呼吸器センター

結核をお忘れではないですか？

こんな患者さんをみられた経験はありませんか？

何ヶ月も咳が続く患者さんがいます。熱や強い倦怠感はありません。前医で喘息の治療を受けていましたが、完治せず受診しました。咳喘息の治療として吸入ステロイド剤を続けていましたが、あまり改善しません。胸部レントゲンを撮影すると、異常があります。急いで喀痰検査を行うと、抗酸菌の塗抹が陽性です。PCRも結核菌陽性で肺結核と診断されました。

こうなると後が大変です。患者さんには入院治療が可能な病院に入院していただくかなければなりません。ベッドの空きがないこともあります。お願いして何とか入院させていただきます。その後、発生届けを書かなければいけません。この患者さんと接触のあった職員や患者さんの検診を行う必要もあります。

国内の罹患率は下がっても、日本における結核罹患率は欧米先進国の4倍

上記のような事を、私は何回か経験しました。これは地域の先生方には関係ない話でしょうか。結核などほとんどなくなってしまったのでしょうか。

昭和20年代の後半まで、日本の死亡率のトップは結核でした(グラフ1)。その後はしばらく脳血管疾患が1位の時代が続き、昭和50年代の後半から(私は医師になりました)悪性新生物が1位となり、これは現在まで続いています。私は呼吸器科

医となった時点では、この仕事において、肺癌の診療にかかる時間が一番長くなっていったといつて良いでしょう。

現在まで結核の死亡率は減少し、罹患率も一時的に増加の気配を見せたものの、現在も減少中です。とはいえ、人口10万対16.6(2012年)は欧米先進国の4倍のレベルで、まだ結核の中蔓延国と定義されます(グラフ2)。それだけでなく、我が街神戸は全国的に見ても最も結核の罹患率

多い地域の一つです。その上、アジアなどの蔓延国からの渡航や留学が多く、外国人の結核患者さんも少なくありません。この中の一部の方に、多剤耐性の結核菌で発病した方がいることも報告されています。

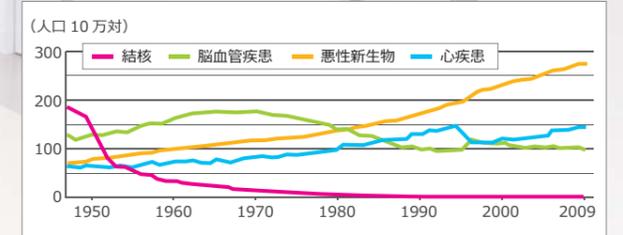
現在の結核の特徴は、高齢者や糖尿



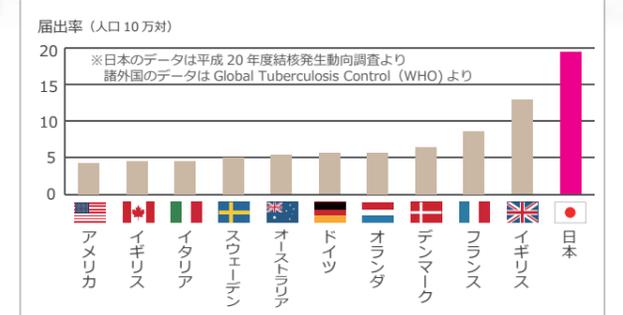
副院長
呼吸器センター長
鈴木 雄二郎
YUJIRO SUZUKI

昭和57年に京都大学を卒業。
 日本内科学会認定内科医・指導医、日本内科学会近畿支部会評議員、日本呼吸器学会専門医・指導医・代議員、日本呼吸器内視鏡学会指導医・気管支鏡専門医、日本結核病学会代議員などの資格を持つ

◆グラフ1 死因順位上位の病気の死亡率の推移



◆グラフ2 諸外国と日本の結核届出率



病などの基礎疾患を持った人や、免疫を抑える薬を使用している人に増えてきていること、生活困窮者など社会的弱者に罹患率が高いこと、症状や胸部レントゲンなどで典型的な所見を取らないことがあげられます。また医療機関や施設での集団感染が数多く報告されています。

「もしかして・・・」 そう感じた時はすぐに検査を 実施する事が大切！

では、結核の診断が遅れ、困らないためには、何をすればよいのでしょうか。日常診療で気を付けなければいけないことはなんですか？以下に私自身がいつも注意していることを述べます。

① いつも結核の可能性を考えること

当たり前のように、私たちは自分の患者の診断をする際、紹介して下さった先生を含め、前医の診断に影響を受けます。その中でふと結核が鑑別診断から抜けてしまうことがあるのです。それを防ぐために、前医でレントゲンは正常と言われた患者さんでも、レントゲンを撮らせていただきます。また、喀痰の検査を行う時は、たとえ全く別の疾患を疑っていても、抗酸菌の検査を必ず行う様にしています。

② 咳をしている患者さんには、 全員マスクをしていただく

熱のない患者さんであっても、咳嗽を訴えるすべての患者さんにサージカルマスクを差し上げて装着していただきます。N95をする意味はありません。

現在の病院は待合も非常に気密性が高く、空気の入替わりがほとんどありません。このような場所で、もし結核患者と

同室すると、他の患者さん、病棟のスタッフなどへの感染のリスクが増大します。もちろん、インフルエンザや百日咳などの感染の拡散予防にも有効です。排菌する患者さんが発生したときにかかる検診のコストを考えると、マスクを無償で差し上げて、損にはなりません。

③ インターフェロン γ 遊離試験 (IGRA)を活用する

結核の感染診断として、結核菌に特異的な抗原に対してインターフェロン γ を産生する程度を測定するIGRAは、感度・特異度が高い検査です。結核のおそれがある患者さんのスクリーニングに有用です。現在、クオンティフェロンとTSPOTの2つの検査法があります。

もしかして結核かもしれないと思った場合はためらわず行います。地域の先生方にもぜひ行っていただきたい検査です。

結核の疑いが出た場合は、 すぐに連絡を!!

以上のようなことを習慣で行えば、診断の遅れや、二次感染をかなり防ぐことができると思います。喀痰検査などで、菌を証明し、結核と診断された患者さんは、結核の入院診療が可能な病院に紹介してください。胸部レントゲンやIGRAで結核を疑うも、診断が確定しない場合は、神鋼病院

ご紹介時の注意事項

Point 1 マスクを着用!

患者さんのためにも、スタッフのためにも、ぜひ患者さんにマスクの着用を指導してください。

Point 2 地域連携センターに予約

他の患者さんとの接触を最低限に減らすために、陰圧室に誘導致しますので、必ず地域連携センターを通して予約をしてください。

呼吸器センターにご紹介ください。CTや気管支ファイバー等行い、診断を確定いたします。

結核の疑いの患者さんをご紹介いただくに当たり、以下のようなお願いがございます。ご紹介いただく際は、患者さんにマスクを着用していただくこと、そして地域連携センターを通して、必ず予約していただくことをお願い致します。患者さんは混雑した時間をさけて、他の患者さんとの接触を最低限にして、陰圧室に誘導します。何卒よろしくお申し上げます。

神鋼病院 地域医療連携センター 連絡先

◆事前予約[受診・検査]やお問い合わせについて

■ 連絡先（地域医療連携センター直通）

TEL：078-261-6739
FAX：078-261-6728

■ 受付時間

月～金 8:30～19:00
土曜日 8:30～12:00

■ 時間外・休日連絡先

TEL：078-261-6711（代表）

◆緊急受診・転入院相談について

■ 連絡先（地域医療連携センター直通）

TEL：078-261-6927
FAX：078-261-6728

■ 受付時間

月～金 8:30～17:00

■ 時間外・休日連絡先

TEL：078-261-6711（代表）

Infectious Disease Vol.3 感染症科医のつぶやき

Infectious Disease

神鋼病院 感染症科 科長
香川 大樹

【感染臓器を検討して行う感染症診療とは？】

今回は、感染症診療において「患者背景を考えることの重要性」についてお話しました。今回は「感染臓器を考えることの重要性」についてお話します。

「感染臓器を考える？当然でしょ！考えない医者っているの？」と思われたかもしれません。確かに、全く考えない医者はほとんどいないと思いますが、十分考えていない医者は少なくないかもしれません。というのは、気道感染のような診断を時々見かけるからです。

なぜ、気道感染という診断が良くないのでしょうか。気道感染には感冒、肺炎、咽後膿瘍が含まれます。感冒に抗菌薬は不要ですが、肺炎には必要です。咽後膿瘍では

排膿の適応の検討が必要です。このように、治療方針が全く異なる疾患群の総称である「気道感染」という診断をつけるということは、「それらの違いに注目せずに治療している」ということと同じです。つまり、抗菌薬が不要な人に抗菌薬を処方したり、排膿が必要な人に排膿しなかったりという、誤った治療につながりやすくなります。そういった意味で、気道感染という診断は良くないのです。感染臓器をしっかりと見極めなければ、適切な治療はできません。「違いの分かる男(女)」にならなければいけないのです。

開業医探訪 inquires into a doctor Vol.14

[内科・消化器内科・リハビリテーション科]

小柴クリニック

今回は春日野道商店街のそば、6月1日にリニューアルオープンした「小柴クリニック」を訪ねました。

■ 診療を開始されてどれくらいになりますか？

昭和40年に父が筒井町に開業したのが始まりです。2年後に現在の地に有床診療所として移転し、手術を含めた治療を神鋼病院の医師と共同で行ってきたと聞いています。震災後に再建を果たしましたが、老朽化が著しかったため、父が設計監修したこの建物を再度リニューアルし、このたびオープンする事ができました。

■ どのような患者さんが来院されますか？

ほとんどの方が70歳以上の高齢の方で、慢性疼痛の緩和と内科疾患の治療を目的に来院されておられます。また、父が行ってきた往診を引き継ぎ、現在25名の患者さんを担当しています。

■ 診療にあたり心掛けていることは何ですか？

患者さんに緊張感を与えないよう、にこやかに接しています。そして、患者さんからできる限り情報をお聞きし、今後の方針などについて丁寧に説明を行っています。

■ ひとこと

患者さん一人ひとりに十分な時間をとることができるよう、自分ができる範囲で診療に取り組んでいきたいです。また、父の時代から在宅診療を実施してきたので、希望される患者さんがいる限り、積極的に受け入れができるよう努めていきたいです。

information

- 神戸市中央区脇浜町3丁目5番22
- TEL：078-252-0997
- 診療科：内科・消化器内科・リハビリテーション科
- 休診日：水・金・土曜午後、日曜祝日
- 診療時間

	月	火	水	木	金	土
9:00~12:30	○	○	○	×	○	○
16:00~19:00	○	○	×	○	×	×

